

ICOM にご使用になる前に

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DU65B

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本書では、注意事項と基本的な説明を記載しています。本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

<p>下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様(または、個人のお客様)→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。</p>	
<p>アイコム株式会社 サポート情報 https://www.icom.co.jp/support/</p>	

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社	高品質がテーマです。
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32	A7459D-1J-1 Printed in Japan
202106	© 2018–2021 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。
保証期間後は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- 弊社製品の技術的なお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313（フリーダイヤル）
◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、06-6792-4949（通話料がかかります）
受付（平日 9:00～17:00）
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：https://www.icom.co.jp/

防塵/防水性能維持の定期点検と保守

本製品は、IP67を保証している無線機です。保証期間については、保証書をご覧ください。この防水性能を維持するためにも、保証期間経過後は定期点検(年1回)の実施をおすすめします。また、防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器)

△危険

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**引火、火災、爆発の原因になります。
- **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
 - 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。

△警告

- **分解、改造しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**感電、けがの原因になります。
- **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
 - ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

△注意

- **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をたたく絞ってふいてください。
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **−20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。**記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

△警告

- **アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。**感電、故障の原因になります。
- **大きな音でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

- **電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。**電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- **民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。**交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れしないでください。

△注意

- **アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**変形や破損の原因になることがあります。
- **針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。**故障の原因になることがあります。
- **付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。**故障の原因になることがあります。
- **電気・電子機器の動作に障害を与える場合は、送信しないでください。**テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。

■ 充電器

△警告

- **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△注意

- **次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になります。**
 - 0℃～40℃*以外の環境で充電しないでください。(★BC-161 #22使用時)
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

△危険

- **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。**
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。**バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- **火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- **コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があります。使用をつけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。


△警告

- **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**使用をつけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- **指定の充電時間以上、充電しないでください。**指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- **満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。**過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- **バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。**皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- **テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。**バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- **バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。**無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

△注意

- **次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、■(残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。約1ヵ月： −20～+40℃　　約3ヵ月： −20～+35℃約1年　： −20～+25℃
 - 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
 - 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

<p>バッテリーパックの特性と寿命について</p> <p>○ バッテリーパックは、消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。</p> <p>○ 発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。</p> <p>○ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。</p> <p>○ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。</p> <p>○ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。</p>
<p>バッテリーパックの膨らみについて</p> <p>このような環境や条件で使用をつけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">○ ひんぱんに充電している ○ 満充電直後でも再充電している ○ 高温な場所で使用・保管している ○ 本書で説明する充電方法と異なる <p>バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。</p>

<p>使用後はリサイクルへ</p> <p> Li-ion</p> <p>この製品は充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。JBRCホームページ　https://www.jbrc.com/</p>

<p>バッテリーケースについて</p> <p>単3形アルカリ乾電池専用のバッテリーケース(別売品:BP-221)をご使用になる場合は、弊社ホームページに掲載のIC-DU65B取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。</p>
--

<p>電磁ノイズについて</p>

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。**インバーター回路内蔵のおもな電子機器**

- LED照明器具
- 電磁調理器
- 給湯器
- 自動車に搭載された電子機器
- 太陽光発電装置

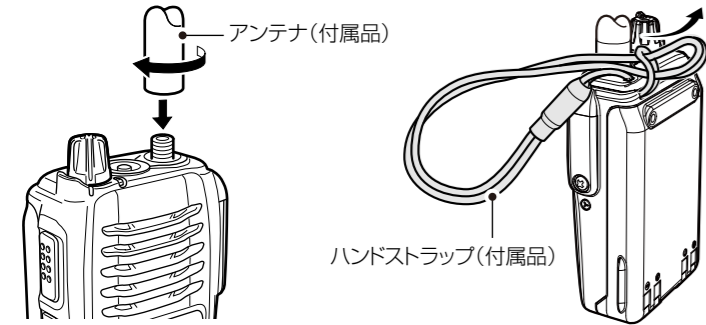
電波法上のご注意

- 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
- 免許状に記載されている範囲内で通信してください。
- 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- 免許の有効期間は、免許取得日から数えて5年間です。再免許の申請は、有効期間満了の6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- 使用できるのは、日本国内に限られています。

付属品

- アンテナ
- 保証書
- ハンドストラップ
- ご使用になる前に(本書)

■ アンテナ/ハンドストラップの取り付け

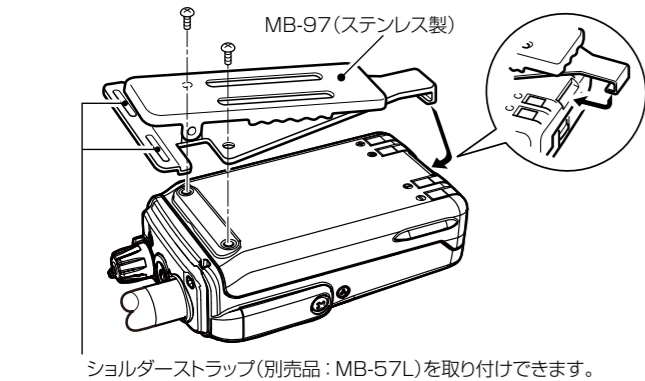


別売品

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

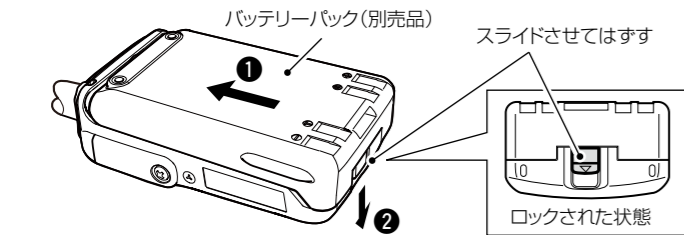
■ ベルトクリップの取り付け

故障の原因になりますので、ベルトクリップに付属するネジ以外は絶対に使用しないでください。



■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。



取り付けるとき

バッテリーパックとの接点部に防水用パッキンを取り付けています。
[①]の方向にスライドさせて、「カチッ」と音が鳴ってから、さらに[②]の方向に押し込んでください。

取りはずすとき

[②]の方向に押しながら、バッテリーパックを[①]と逆方向に引くとはずれます。

△注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。
本製品の電源を切った状態でも、常に微量の電流が流れています。

■ 充電時間と運用時間の目安

		BP-220N1	BP-274N/BP-274
運用時間	パワーセーブ ON	約20時間	約12時間
	OFF	約17時間	約10時間
充電時間(BC-161 #22使用時)		約4時間30分	約2時間30分

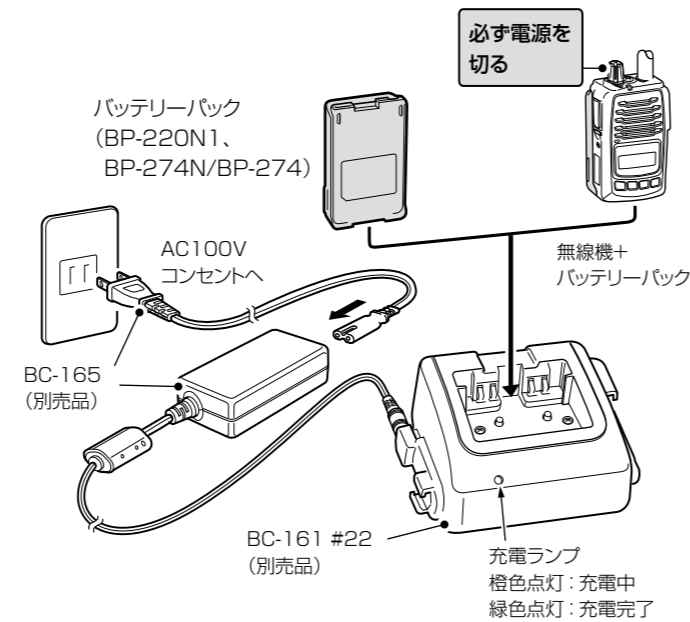
条件：送信出力 5W時、送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用

■ 充電のしかた

△危険

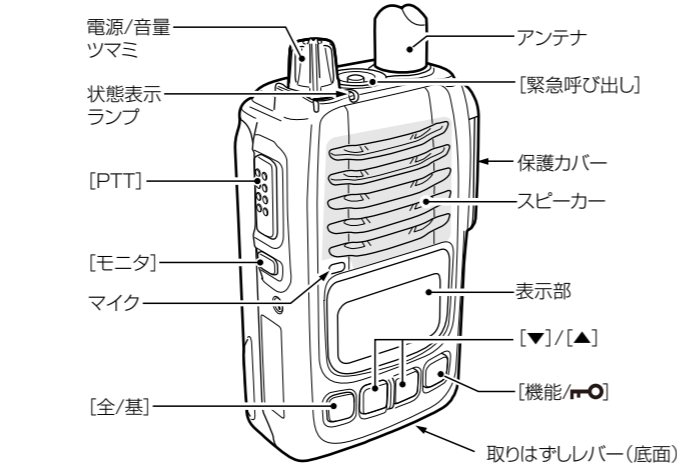
- ◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器(弊社ホームページに掲載)をご使用ください。
- ◎ 「安全のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。
※充電中は、必ず無線機の電源を切ってください。電源を入れたまま充電すると、正常に充電できないことがあります。



※充電ランプが交互点滅(橙/緑)するときは、無線機の電源が切れていることを確認してください。それでも変化しない場合は、バッテリーパックの故障、または寿命ですので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

各部の名称



状態表示ランプについて

- ◎ [PTT]を押しているあいだは、ランプが赤色に点灯します。
- ◎ 受信(他局が通信中)は、ランプが緑色に点灯します。
- ◎ 待受状態のときは、ランプが消灯します。

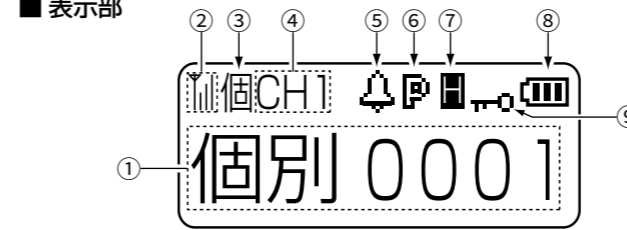
ロック機能について

[機能/■]を長く(約1秒)押しすと、「ピピッ」と鳴って、「■」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、モニター機能のON/OFF、電源の入/切です。
※音量調整をロックされない操作に変更するには、お買い上げの販売店で設定が必要です。

モニター機能を使用するときは

通話チャンネルを選択し、相手局番号やグループ番号などが異なる他局の通話を聞くときに、[モニタ]を押します。
※押しているあいだ動作するか、押すごとに動作を切り替えるかは、設定によって異なります。
※設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 表示部



①	通話チャンネル番号、個別(相手局)番号、音量表示(電源/音量ツマミ操作時)
②	受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示 無 弱 中 強
③	個：個別、全：全体、基：基地、グ：グループ ■：グループメンバーに設定されているグループ番号
④	通話チャンネル番号、SET：セットモード時、メッセージ：ショートメッセージ選択画面時、CH：秘話が設定されている通話チャンネル
⑤	点滅：個別呼び出しによる着信時、点灯：ポケットビープ機能設定時
⑥	点灯：Pベル機能設定時
⑦	■：ローパワー(1W)選択時 ■：ハイパワー(5W)選択時 ■：受信専用チャンネル*選択時 ★設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
⑧	電池の残量(目安)を4段階で表示 ■十分、■残量あり、■残量少(早めに充電)、■残量なし(要充電)
⑨	ロック機能動作時

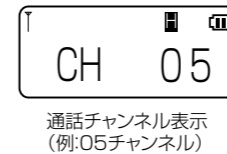
基本操作

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、電源が入り、待ち受け状態になります。
※個別呼び出し機能が設定されているとき、自局番号が表示されます。(例:自局 0001)
※表示部の照明は、約5秒後に自動で消灯します。
※反時計方向に回すと、電源が切れます。

■ 通話チャンネルをあわせる

同じ通話チャンネルを設定する相手と通話できます。

- [機能/■]を短く押して、通話チャンネル表示に切り替えます。
- [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。



■ 呼び出しをする(送信する)

個別呼び出し機能の設定(ON/OFF)によって、操作が異なります。

個別呼び出し機能OFF時

相手と同じ通話チャンネルに合わせてから、他局が通信していないこと(ランプ：消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

個別呼び出し機能ON時

- 相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。
- 呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択後、他局が通信していないこと(ランプ：消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

相手局から応答がないときは

個別呼び出し後、点滅表示から点灯表示に戻ってから、再度[PTT]を押すと、繰り返し呼び出しできます。

相手局が通信圏内かどうかを確認するには

個別/基地局呼び出しの相手局番号を選択した状態で、[PTT]を短く押します。
※相手局が通話圏内にいる場合、「ピッ」と鳴り、ランプが1回点滅(緑色)します。
※通話圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示に戻ります。

通話チャンネルについて

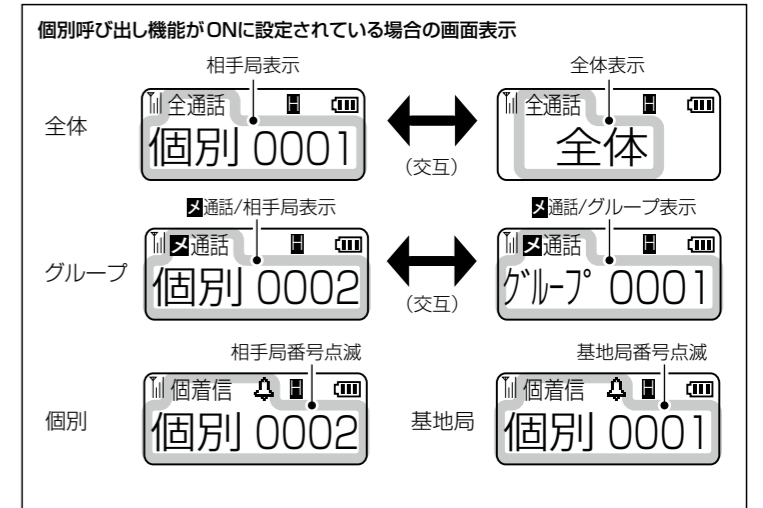
あらかじめ免許を受けた周波数で、通話チャンネル番号として設定されています。
設定変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

個別呼び出し機能と呼び出した

個別呼び出し機能がONに設定されている場合、自局と同じ通話チャンネルを使用する複数の相手に対する呼び出しは、下記から指定する必要があります。
全体：一斉に全局を呼び出す 個別：選択した番号の1局を呼び出す
基地：基地局を呼び出す グループ：グループに所属する局を一斉に呼び出す

■ 呼び出しを受ける(受信する)

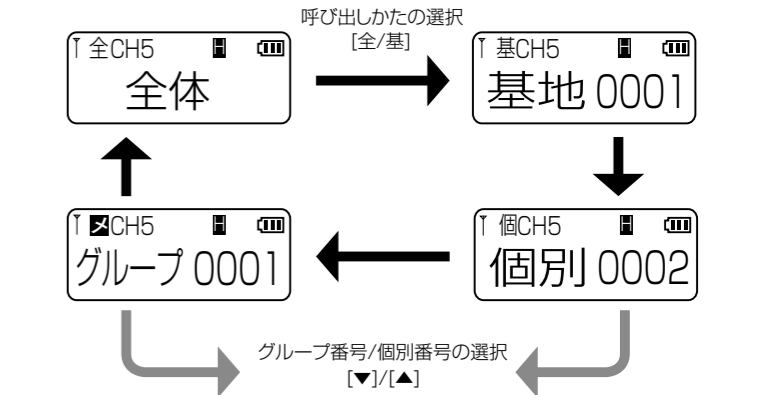
信号を受信すると、ランプが緑色に点灯して、受信している電波の強さ(目安)を4段階で表示します。
※応答するときは、待受状態(ランプ：消灯)になってから、[PTT]を押します。



呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)の選択

個別呼び出し機能ON時、呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択できます。

- [全/基]を繰り返して、呼び出しかたを選択します。
- 相手の個別番号、または所属するグループ番号を選択するときは、[▼]/[▲]を押します。



セットモードによる機能設定

セットモードに移行するときは

- 本製品の電源を切ります。
- [機能/■]を押しながら、電源/音量ツマミを回して、電源を入れます。
- [MODE CHG]と表示されたら、すべてのスイッチから手をはなして、起動コメント(例:IC-DU65B)が表示されるまでに、[機能/■]を短く押します。
・「ピピッ」と鳴って「SET」を表示したあと、セットモードの設定項目が表示されます。

セットモードに移行したあとは

- 次の手順で、本製品の設定を変更できます。(下記参照)
- [機能/■]、または[全/基]を押して、設定項目を選択します。
 - [▼]/[▲]を押して、設定を変更します。
 - [PTT]を押すと、設定が確定されて、運用できる状態になります。

セットモードで変更できる設定について

Pベル：個別呼び出しを受けて着信すると、応答するまで相手の音声ミュート(聞こえないように)する
マイクゲイン：マイク感度の設定
発着信履歴消去：個別呼び出し機能で呼び出し、または呼び出しを受けたときの発着信履歴を消去する
※販売店での設定により、変更できる項目が上記と異なる場合があります。